

# 市民に寄り添う市政に!



## 老人福祉センター

12月 議案質疑



### 老人福祉センターの入浴事業が廃止?

趣味の活動や健康づくりなどに関する講座や教室、法律・健康に関する相談などを目的として、市内7園（各区1園）設置されている「老人福祉センター」の指定管理者の指定議案が提案されました。今回、指定管理者の指定に併せ、従来あった「入浴事業」を廃止する計画です。市は、入浴事業については生活環境の変化や設備の老朽化などを理由に廃止することですが、老人の健康増進のためには重要な入浴施設であり、廃止しないよう強く求めました。



## 学校あんしんメール

9月・12月 一般質問

子ども

### 市は個人情報の取り扱いについて 丁寧に慎重にするべき

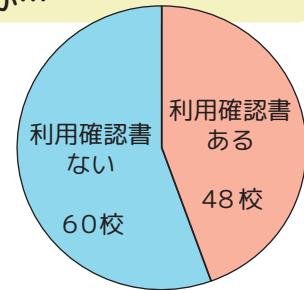
今年7月に学校あんしんメールにワクチンの治験募集のメールが配信された件は、保護者の個人情報を、教育機関を通じて企業に取得させ、チェックできない広告配信の問題の指摘もしました。便利さの裏には大きなデメリットが隠れています。

### 教育委員会が責任を持って広告の入らない メール配信の仕組みを構築すべき

教育委員会は、「改めて各学校に対し、安心して活用できる適切な民間サービスを紹介していく予定」と答弁。  
→教育現場の在り方等を含めた検討を重ね、台風襲来時の休校連絡など本来の主旨に沿ったメール配信がされるよう、個人情報に関する取扱いは、市全体としてもっと質を上げ、市民や子どもたちに胸を張れる市政運営を強く求めました。

### 学校とメール配信会社との間では 利用条件の確認が必要だが…

利用条件等を記した  
「学校安心メール利用確認書」  
ある … 48校  
ない … 60校（口頭確認）



### 確認書があっても…

日にちや校長名が入っていない不備や利用開始時期により学校によって条件の差がある問題をずっと放置。  
企業などがお金を出せば広告を出せるシステムだった…。  
教育委員会の認識→無償利用はメリット  
教育現場がそれでいいの？？  
お知らせしたい企画の後援依頼もお金を出せば何でもするの？？ そうじゃないでしょう…。

## 令和5年第5回福岡市議会（定例会）

9月 決算特別委員会

- ◆一般会計補正予算（38億9千6百万円）
  - ・給付世帯の見込みの増加に伴う、電力・ガス・食料品価格高騰緊急支援給付金
- ◆福岡市子ども医療費助成条例の一部改正

★子ども医療費助成事業の対象者範囲…「中学校3年生」から「高校生世代まで」拡大

●審議：決算議案22件、補正予算案3件、条例案11件、一般議案18件。結果：全て可決又は同意



## 令和5年第6回福岡市議会（定例会）

12月

- ◆一般会計補正予算（233億2百万円）
  - ・物価高騰緊急支援給付金 住民税非課税世帯7万円支給／世帯あたり
  - ・介護・障がい者施設等への光熱費・食費支援、保育所等への光熱費、中小企業等への光熱費等支援等
- 審議：補正予算案12件、条例案12件、一般議案34件。結果：全てが可決又は同意